



株式会社 TSSソフトウェア (広島県広島市)

DATA

- 事業内容 / 情報通信業
- 設立年 / 1989年
- 代表者 / 岡田尚志社長
- 従業員数 / 75人
- 担当専門家 / 社会保険労務士・久保春恵氏

満足度高いテレワーク 時間管理から健康管理まで 総合的対応で円滑推進



社長 岡田 尚志氏

効率的勤務を円滑に推進

働き方改革推進支援センターから労働時間管理や健康管理面、各種手当の新設などについての助言があり、会社が目標とした「テレワーク活用による効率的勤務の推進」を円滑に進めることができた。

テレワークの利用者が7割を超えるようになってきているが、これからもより柔軟で効率的な勤務形態を推進し、従業員の士気と満足度向上に努めたい。

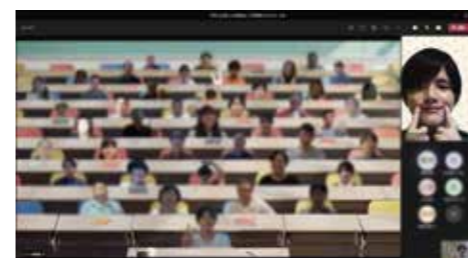
相談内容

- ◆ 会社の中期ビジョンに掲げる基本理念の一つ「Smart Work」(生産性や従業員満足度の向上と、多様で柔軟な働き方)を進めるため、従業員個人の事情に応じた施策を今後検討することとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて感染予防と拡散防止のため、出勤率を抑えることが急務であると感じて在宅勤務をスタートした。
- ◆ システム環境の構築は得意とするものの、管理面や制度面は走りながらの取り組みとなった。在宅勤務の環境をつくる支援から始めたものの、一番心配だったのが労務管理と仕事の効率だった。

【従業員の声・反応等】

テレワークにより通勤による負担が軽減されワーク・ライフ・バランスの改善につながった。

テレワークの推進によってワークフローシステムやオンライン申請のような新しいシステムが導入され、書類郵送業務の削減など業務が効率化したことで負担も軽減したと感じている。



ビデオ会議システムを利用した新入社員歓迎会

効率化・改善部門

専門家からのアドバイス

- ◆ 職務内容により、テレワークを利用する際の基準を作成。出勤勤務、テレワーク、時差勤務、育児・介護のための短時間勤務の4つを勤務形態として就業規則に規定した。
- ◆ 通信費などの補填を目的として、テレワーク手当の新設を検討。金額は通信費などの実費がどの程度か、該当者に意見を聴取した。
- ◆ 長い期間出勤しない従業員には、体重増加、血糖値や高血圧などのリスクなどがあるため、定期健康診断で再検査の所見が出た社員へ個別で受診確認を行うことなどを提案した。



テレワーク導入により機会が増えたオンライン会議

【評価のポイント】



今野 浩一郎 学習院大学名誉教授

テレワークを推進する総合的な対応は、参考になる事例となっている。



担当専門家
社会保険労務士 久保 春恵氏

業務効率化と社員交流にも効果

現在、テレワークと出社の両方の勤務が選択可能。通勤時間がないことがテレワークを開始して最初に感じた利点。しかしそれ以外にも、テレワークの推進によってワークフローシステムやオンライン申請、ペーパーレス化が導入され、書類郵送業務の削減など業務が効率化したことで負担も軽減したと感じている。コミュニケーション面でも、オンラインでの朝礼・終礼、東京メンバーの飲み会参加など社員間の交流に効果が上がっている。